

事業概要シート

担当部名	産業振興部	事業名 (親事業名)	観光宣伝事業費
担当課名	観光振興課		
担当係名	観光振興係	根拠法令・例 規・要綱等	
事業開始年度			

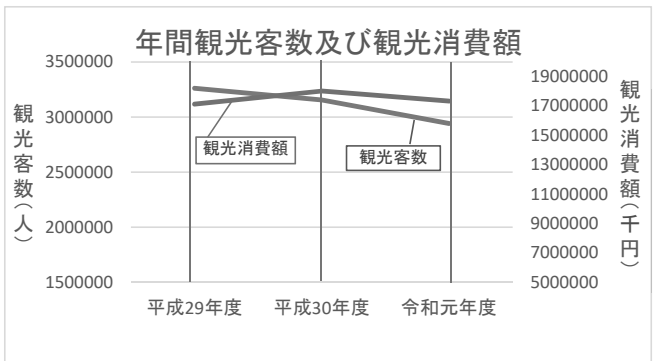
事業概要

目的	本市の観光情報を広く紹介・宣伝するため、ターゲットを絞った効果的な情報発信に取り組み、観光客の誘致につなげることを目的とします。			
構成子事業	No.	子事業名	事業概要	R02予算額
	1	観光資源体験事業費	市内の観光資源を体験してもらい、その良さを伝える	300
	2	観光情報発信事業費	様々な媒体を活用し、市内の観光情報を広く発信する	1,194
	3	観光プロモーション事業費	特定の客層に絞って情報発信し、誘客を促進する	976
	4	観光プロモーション事業補助金	交通事業者等と連携して誘客施策に取り組む厚木市観光協会に対し補助金を交付する	2,000
合 計				4,470
事業の効果	幅広い対象に向けたたくさんの情報を発信することは必要なことですが、観光における情報発信は、それを受け取った人に本市へ足を運んでもらうことが重要です。そのためにも、本事業ではターゲット（対象）を絞り、求める情報を的確に発信することで誘客を促し、地域経済の活性化を図ります。			

事業のコスト（親事業）

コスト	単位	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込み）	令和2年度（予算）
	事業費	4,951	4,999	4,470
	人件費	3,893	6,058	
	経費総額	6,673	11,369	

成果指標	指標名	年間観光客数				成果指標の推移グラフ	
	指標の説明	本市に訪れた宿泊及び日帰り観光客数					
		単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度
	目標	人	3,860,000	4,080,000	4,300,000		4,500,000
	実績	人	3,262,470	3,154,952	2,941,973		
	達成率		84.5%	77.3%	68.4%		
	指標名	観光消費額					
	指標の説明	観光客が市内で消費した額					
		単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度
	目標	千円	16,100,000	16,400,000	16,700,000		17,000,000
実績	千円	17,134,404	18,024,832	17,336,911			
達成率		106.4%	109.9%	103.8%			



①市民要望 ②社会的要請 ③課題	<p>①コロナ禍において遠出を控える市民も多く、近場で密を避けて楽しめる観光が求められています。</p> <p>②感染症予防に向けた新しい生活様式に取り組む一方、低迷する地域経済の活性化が求められています。</p> <p>③成果指標となる「年間観光客数」は減少傾向にあります。一方で、地域経済の活性化を示す「観光消費額」は横ばいを維持しています。これは日帰り観光客が減少する一方で、ビジネス客の宿泊やイベントでの消費額が安定しているためです。こうした状況を踏まえ、本市の強みをいかしつつ弱みを克服する適切な観光宣伝が必要です。</p>
------------------------	---

上記課題等への対応や見直しの方向性	<p>コロナ禍において、密になる有名な観光地が避けられている今、本市のような中堅観光地がその分散先として注目されています。これを好機と捉え、これまで東京近郊に向けていた集客先を神奈川県内及び市内に転換し、程よい集客を図りつつ地元の方に地元の良さを知ってもらう観光宣伝を進めていきます。</p> <p>また、観光消費額を支えるビジネス客に対し、観光客としての消費を促すための観光宣伝を展開していきます。</p>
-------------------	--

1	子事業名	観光資源体験事業費			
対象	市民及び市内観光関連事業者				
事業詳細 (実施内容・手法等)	本市の魅力を知ってもらうため、旅行者などに市内の観光資源を見て、回って、体験してもらう事業です。これまででは市外の旅行者を対象に、推奨コースを案内して感想や意見をいただくほか、回遊や体験を促す施策などを展開してきましたが、今年度は、市民や市内観光事業者(主に宿泊事業者)を対象に、地元の観光資源を巡るバスツアーを計画しています。自らが住み、働くまちの魅力を再発見し、クチコミなどその後の情報発信につなげてもらうことを期待しています。				
事業のコスト					
コスト	単位(千円)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込み)	令和2年度(予算)	
	事業費	400	495	300	
	人件費	1,730	1,298		
	経費総額	2,130	1,793		
	事業費 財源内訳 (千円)	財源	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込み)	令和2年度(予算)
		一般財源	400	495	300
		国県支出金	0	0	0
市債		0	0	0	
その他		0	0	0	
総額	400	495	300		
事業費内訳	令和2年度の予算内訳 ・委託料 300千円(市内観光資源体験ツアー運営委託)				
事業周知方法 ・内容	市ホームページや広報あつぎに掲載する他、公共施設等にチラシを配架し、市内向けに周知します。				
直近3か年以内 の事業見直しの 有無とその内容	見直しの有無	有			
	以前は大山・宮ヶ瀬といった市外の観光拠点からの回遊を促す体験事業を中心に実施してきましたが、今年度は、本市に住む市民や市内に拠点を置く観光関連事業者に、わがまちの魅力を再発見してもらい、地元への愛着と今後のPRに結びつけるための体験ツアーに変更しました。				
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・H30年度は温泉割引クーポン付観光リーフレットを1万部作成し、大山ケーブル駅及び県立あいかわ公園で実施したキャンペーンで配布したほか、市内の公共施設や温泉地付近の飲食店等に配架しました。 ・R01年度は5市町村合同(厚木市、伊勢原市、秦野市、愛川町、清川村)で実施しているスタンプラリー事業と連動し、観光資源を周知するためのリーフレット「よりみちガイド」を10,000部、本市の特産品を周知するリーフレット「イチゴのもぎ取り」を5,000部作成し、同市町村内で配布しました。 				
事業の全体像(スキーム図等)					
厚木市	連携	厚木市観光協会 旅行業務取扱事業	販売	市民	
	委託			観光関連事業者	
<ul style="list-style-type: none"> ①ツアーの企画・立案 ②観光資源管理者・観光関連事業者等との調整 ③情報発信 		<ul style="list-style-type: none"> ①観光資源について感想や意見を厚木市に回答 ②SNSや知人に紹介など、情報発信をしてもらう 			
<ul style="list-style-type: none"> ①ツアーの販売 ②観光資源管理者・観光関連事業者等との調整 ③ツアー当日の運営 		<ul style="list-style-type: none"> ①本市の魅力を再発見し、観光振興につなげる ②ほかの参加者などの声を聞き、受入環境の整備につなげる 			

事業概要シート

2	子事業名 観光情報発信事業費
対象	観光客（ハイカー、旅行者）、市民など
事業詳細 (実施内容・手法等)	<p>パンフレットやチラシ、ホームページ、SNSなどの各種媒体を通じて本市の観光資源を広く情報発信します。</p> <p>【厚木大山ハイカーズガイド作成 15,000部制作・配布】 本市の観光資源であるハイキングをより安全に楽しんでもらえるよう、厚木大山ハイカーズガイドを作成し、アウトドアショップの店頭ラックを始め、市内外に広く配架することで観光客の誘致拡大を図ります。</p> <p>【糸満市観光交流】 友好都市である沖縄県糸満市で開催される「糸満フェア」において、本市の魅力をもPRする観光関連事業者を支援します。</p>

事業のコスト

単位（千円）		平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込み）	令和2年度（予算）
コスト	事業費	4,551	1,751	1,194
	人件費	2,163	1,298	
	経費総額	6,714	3,049	
	事業費 財源内訳 (千円)			
財源		平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込み）	令和2年度（予算）
	一般財源	4,551	1,751	1,194
	国県支出金			
	市債			
	その他			
	総額	4,551	1,751	1,194

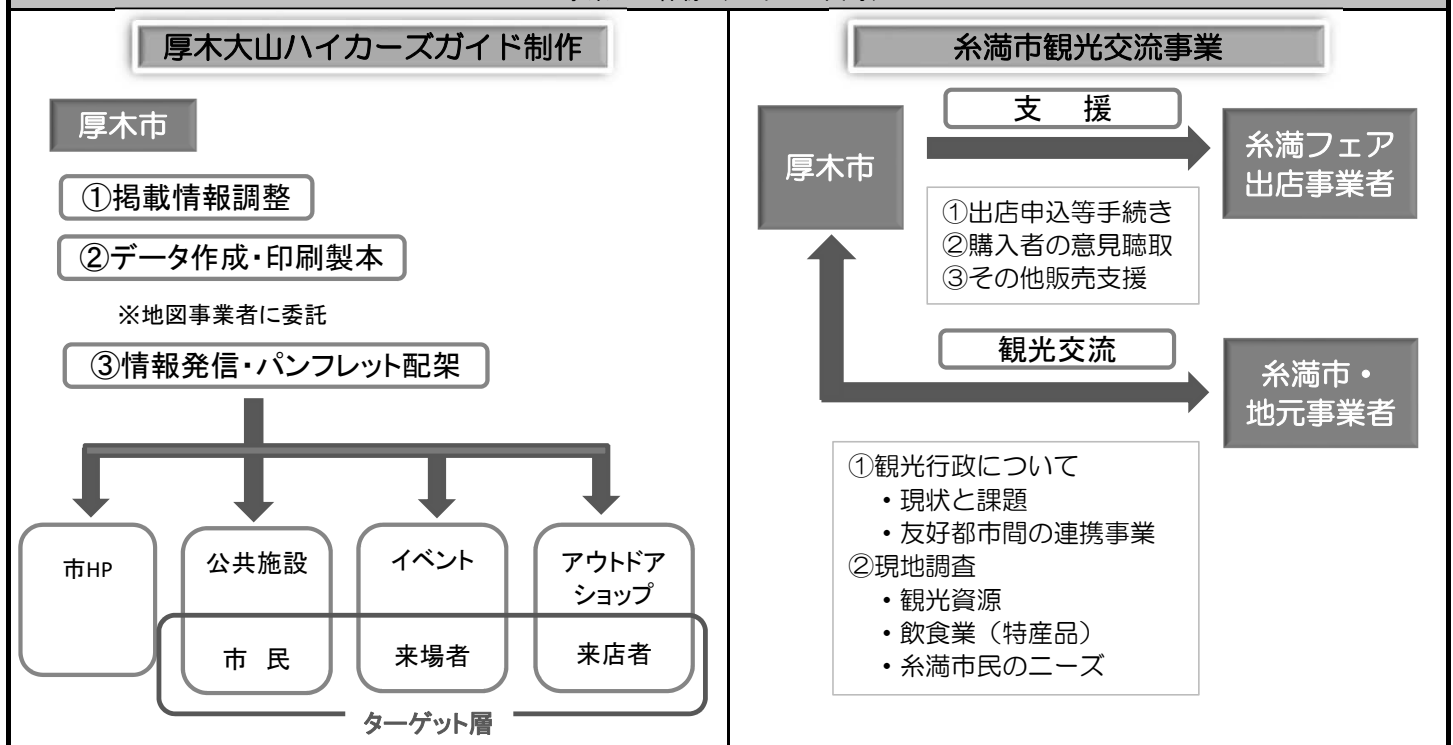
事業費内訳	<p>令和2年度の予算内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 140千円（糸満市観光交流事業参加旅費） ・印刷製本費 1,000千円（ハイカーズガイド修正増刷） ・使用料 54千円（店頭ラック等パンフレット設置使用料）
-------	--

事業周知方法・内容	市ホームページに掲載する他、各種イベントで配布を行います。また、アウトドアショップの店頭ラックに配架するなどターゲットを絞り、効果的に情報発信を行います。
-----------	---

直近3か年以内の事業見直しの有無とその内容	<p>見直しの有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有</p> <p>糸満市交流事業として、平成30年度から2年間、厚木市観光協会に事業を委託し、糸満フェアでの本市特産品のPRと販売を実施してきましたが、市内事業者が自主的に参加できる土台が出来上がったため、今年と同フェアに出向く市内事業者の支援のみとして見直しを図りました。</p>
-----------------------	---

事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「厚木大山ハイカーズガイド」を15,000部を、市内公共施設やアウトドアショップ、圏央道厚木サービスエリアで配架するほか、イベントなどで配布しました。 ・平成30年度、ビジネス客をターゲットに中心市街地の店舗などを案内した「厚木市まちなかガイド」を日本語版・英語版各20,000部作成し、ホテルや飲食店に配架しました。 ・平成29年度に「厚木市総合観光ガイド」15,000部を作成し、市内公共施設等に配架していましたが、平成30年度から厚木市観光協会の補助事業として移管しました。
-------	---

事業の全体像（スキーム図等）



3		子事業名	観光プロモーション事業費		
対象		特定の旅行者や市内外の一般消費者			
事業詳細 (実施内容・手法等)		特定の客層に絞って誘客を促進する宣伝事業です。 【CM動画配信】 本市の観光資源でもある「温泉」「ハイキング」「ご当地グルメ」に興味を持つSNSユーザーに向け、誘客を促すCM動画をプッシュ広告として配信します。 【大山ケーブル駅看板広告】 大山(伊勢原市)に訪れた観光客に対し、本市への回遊を図るため、大山ケーブル駅構内にある電飾看板に、本市の観光資源を広告として掲出します。			
事業のコスト					
コスト	単位(千円)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込み)	令和2年度(予算)	
	事業費	0	2,753	976	
	人件費	0	3,462		
	経費総額	0	6,215		
	事業費 財源内訳 (千円)	財源	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込み)	令和2年度(予算)
		一般財源	0	2,753	976
		国県支出金			
市債					
その他					
総額	0	2,753	976		
事業費内訳	令和2年度の予算内訳 ・委託料 500千円(動画配信委託) ・使用料 476千円(大山ケーブル駅看板スペース使用料)				
事業周知方法 ・内容	SNSで広告配信するほか、大山ケーブル駅構内にある電飾看板に本市の魅力ある観光資源のポスターを掲出します。				
直近3か年以内の事業見直しの有無とその内容	見直しの有無	有	本事業は、特定の客層に向け確実な誘客を促すための施策として、令和元年度に情報発信事業から独立させて展開しています。		
事業の実績	≪動画作成事業≫ ・ハイキング、グルメ、温泉のCM動画を作成しYouTubeで配信したほか、アウトドア関連を視聴した方等に対し、1日1,000人以上に1箇月間プッシュ広告を配信しました。 ≪大山ケーブル駅看板広告事業≫ ・ケーブル駅構内に設置されている電飾看板に厚木市の温泉や紅葉の広告を掲出しました。				
事業の全体像(スキーム図等)					
動画配信事業		大山ケーブル駅看板広告事業			
厚木市		厚木市 使用契約 → 大山電鉄			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">①動画配信(随時)</div> ※15秒動画3種(温泉、ハイキング、グルメ) ※現在、コロナウイルス感染症拡大防止のため、温泉及びグルメのPR動画は配信を停止している。		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">①使用料支払い</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">②季節に合わせ、広告の張替え</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">③広告の作成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">④パンフレットの作成</div>			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">②季節に合わせ 広告配信</div> → <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">委託</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">事業者</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">①看板の管理</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">②パンフレットの配架</div>			
※広告の配信先を地域やよく見ている動画の内容から抽出し、興味を持ってもらえそうな方に積極的にPRしていく。					

事業概要シート

4	子事業名	観光プロモーション事業補助金			
対象	鉄道等利用者、沿線在住者				
事業詳細 (実施内容・手法等)	観光プロモーション事業の一つで、交通関連事業者と連携し、誘客キャンペーンを実施する厚木市観光協会に対し、事業費の一部を補助します。今年のキャンペーンは、小田急電鉄と連携し、駅貼りポスターや中刷り広告の掲出、パンフレットなどの配架を通じて、市内観光資源をPRするほか、イベントや講座などを企画し、鉄道利用者や沿線在住者の誘致を図ります。				
事業のコスト					
コスト	単位(千円)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込み)	令和2年度(予算)	
	事業費	0	0	2,000	
	人件費	0	0		
	経費総額	0	0		
	事業費 財源内訳 (千円)	財源	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込み)	令和2年度(予算)
		一般財源	0	0	2,000
		国県支出金			
市債					
その他					
総額	0	0	2,000		
事業費内訳	令和2年度の予算内訳 ・補助金 2,000千円(交通事業者連携プロモーション事業補助金)				
事業周知方法 ・内容	市ホームページや広報あつぎに掲載する他、公共施設等にチラシを配架し、市内向けに周知します。				
直近3か年以内の事業見直しの有無とその内容	見直しの有無	有	本市への訪問が容易な小田急線沿線エリアをターゲットとした誘客を図るため、当該鉄道事業者と連携したキャンペーンを計画しました。同鉄道事業者を会員に有する厚木市観光協会のノウハウがいかせる事業であるため、同協会を実施主体とする補助事業として新設しました。		
事業の実績	・令和元年度に観光ガイドブック「秋が彩るあつぎへようこそ」を26,000部作成し、小田急線各駅やイベントで配布しました。また、小田急線全駅においてポスターを令和元年10月25日から令和元年11月30日まで掲示しました。(観光プロモーション事業委託料)				
事業の全体像(スキーム図等)					
<pre> graph TD City[厚木市] -- 補助金交付 --> Assoc[厚木市観光協会] Assoc -- 連携 --> City Assoc <--> 連携 Operator[交通関連事業者] Assoc --- Tasks["①イベント等の企画・立案 ②事業運営 ③パンフレット等の作成"] Operator --- Tasks2["沿線利用者に向けたキャンペーン・イベントの周知 ①駅等へのパンフレット配架及びポスター掲出 ②車両内中吊り広告の掲示"] </pre>					